



事業報告会を開催

現在、組合が進めているごみ中間処理施設整備事業について、皆さんにお知らせするため「第1回厚木愛甲環境施設組合事業報告会」を開催しますので、ご参加ください。

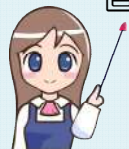
日時：6月25日（日）

午後2時～3時30分

場所：厚木市環境センター2階 会議室
（厚木市金田 1641 の1）

内容：
・ごみ中間処理施設整備事業の概要
・事業区域のかさ上げについて
・環境アセスメントの調査状況
・厚木市環境センター焼却処理施設の見学

参加方法：申し込み不要（定員 100 人）
直接会場にお越しください。



緑地整備の検討が始まる

「厚木市ふれあいプラザ」の再整備や、新たなごみ中間処理施設の敷地内に整備する緑地などを検討するため「環境センター周辺整備を考える会」が厚木市金田地区に組織され、5月23日に第1回目の会合が開かれました。

組合が整備する緑地の計画については、次回6月30日に事例視察を行い、今年度数回の意見交換をしていただく予定です。



環境アセスメント（環境影響評価）の状況

ごみ中間処理施設の整備に伴う環境アセスメントの現地調査について、5月上旬に事業区域内とその周辺の植物、動物、水生生物の春季調査を実施しました。

調査にあたっては、目視観察による判別、痕跡確認や、わななどでの捕獲によって状況を確認しました。

季節によって確認することが困難な種類もあるため、同様の調査を7月下旬と、秋、冬の時期にも実施します。



※今回確認した動植物の一部の写真を掲載しています。

焼却灰を資源に



溶

融



ごみを焼却した後に出る灰（焼却灰）を 1200℃以上に加熱し溶かして液状にすることを溶融といいます。

溶融後にできるものをスラグといい、これを水に入れて冷却（急冷）すると砂状の「水砕スラグ」となり、砂の代わりにコンクリートなどの原料として道路側溝や歩道の点字ブロックなどに活用されます。

一方、スラグをゆっくり冷却（空冷）すると石状の大きな塊「徐冷スラグ」となり、天然石の代替りの材料として道路の路盤材や川の護岸工事などに活用されます。



水砕スラグ



徐冷スラグ

組合議会情報

組合議員 13 人のうち、清川村選出議員が、任期満了に伴い変更となりましたのでお知らせします。

(新) 岩澤敏雄 議員
細野洋一 議員

(旧) 藤田義友 議員
川瀬正行 議員

平成 29 年第 2 回定例会のお知らせ

日時：8 月 28 日(月)午前 10 時【予定】

3市町村情報コーナー

～町をあげて清掃に取り組んでいます～

「あいかわごみゼロ・クリーンキャンペーン」

愛川町の美しい自然と住みよい環境を守るため、5月28日に「あいかわごみゼロ・クリーンキャンペーン」を実施したんだ！約6500人が町内の道路や河原、広場などに落ちている空き缶やペットボトルなどを拾い集めたよ！

町をあげて清掃に取り組むため、昨年度から防災行政無線放送で、町内の小学生のアナウンスによる参加の呼び掛けを行っているんだけど、今年度は、在住する外国人比率が高い町の特徴を生かし、新たにスペイン語による呼び掛けも行ったんだ！

キャンペーン当日の朝、町立中津第二小学校6年生の前川佳音さんが日本語で、同校6年生のラミレス・ナオミさんがスペイン語で参加を呼び掛けるアナウンスをしたよ！

集められたごみの量は、日頃の清掃活動や環境美化マナーの向上により年々減少傾向で、昨年と比べて2.82トンの減少の7.44トンとなったよ！

ぼくが紹介するよ！



愛川町観光キャラクター
あいちゃん



原稿を録音するラミレス・ナオミさん（左）と前川佳音さん（右）



キャンペーンの様子

問い合わせ：愛川町環境課 ☎046-285-6947